

「どこでも市長室」でいただいた意見等

日 時	平成 31 年 2 月 27 日（水） 11:00～12:00		
会 場	ボランティアセンター	申込団体名	下妻エコの会リポーン
参加者の意見 (1/2)	<ul style="list-style-type: none"> ●生ごみの水切りや 3010（さんまるいちまる）運動について、市報に載せていただいていると思います。非常に良いことだと思いますが、クリーンポート・きぬで働いている人や収集・運搬を行っている人の意見、現場からゴミがどんなかたちで出ているのか、そういうところも知れたら良いと思います。 ●ごみを焼却する際に、水分が多くて、水を燃やしているような状況です。生ごみの水を絞るということは、お知らせ版によく載せてくださっていますが、生ごみを出す際に、水分を切ることを、もっと徹底すべきだと思います。生ごみを燃えるごみと分別し、収集することはできませんか。 ●生ごみについて、年 1 回でも 2 回でもいいので、「三角コーナー」の網を無料配布して、水を切ってもらえれば、焼却炉の重油の燃料費が 10%削減できるとか、そののところがきちっとアピールする必要があると思います。 ●子どもさんが環境に関わることを認識させるのに、環境カルタ大会の開催はいいことだと思いますが、その上の世代にも気づかせることが必要です。 ●保健センターで健康ポイント制度（しもつま元気ポイント事業）を行っておりますが、エコ活動やリサイクルを行った際に付くエコ・ポイントを作ってみたらどうでしょうか。ごほうびにごみ袋をくださるとか。 ●廃油の問題について、私どもでは、エコ石鹼ということで、化成ソーダを廃油に入れて、石鹼化しているのですが、日立市では、集めた廃油にエタノールを入れて、廃棄物回収の車のディーゼルエンジンに使っています。そういうことが、下妻市でもできないかと思っています。給食センターや民間企業でも廃油の処理に困って、捨てているのであれば、結構な量が集まると思います。 ●家庭でてんぷらを揚げた後の廃油は、凝固剤で固めたりしていますが、そういうものを、月に 1 回、資源ごみとして回収し、再利用するシステムが作れないのでしょうか。 ●プラスチックの再利用について、今、飲食店がストローを紙に変更したり、一部で取り組みが始まっていますが、例えば、市の施設で使うとか、率先して、切り替えていく考え方が必要だと思います。飲食店でやり始めたから、うちもやるではなくて、率先して、市が旗を振ったほうが良いと思います。 ●プラスチックや紙のリサイクルについて、結果として、どういう利点があるのかが周知されていないです。例えば、1 ㍓のポリ瓶を 26 本使ったら、Y シャツの原料が 1 枚出来るという話をすれば、実感がわくと思います。廃紙も分別すれば、段ボールとして再利用することができます。紙の分別ができれば、利用方法はいくらかでもあります。そういった情報発信が必要だと思います。 		

（続） 下妻エコの会リポーン

参加者の意見
(2/2)

- 砂沼を歩いているのですが、砂沼にもごみが落ちているのを見かけます。バードウォッチングや自然観察を楽しんでいる人もたくさんいます。そこで、砂沼だけのボランティア団体を作って、そこが主体になって、ごみ拾い活動や湖面に浮いている魚の処理をするのはどうでしょうか。ボランティア活動なので、市は裏方として、バックアップしてもらえれば良いと思います。
- 砂沼に、市コミュニティサイクル「しもんチャリ」が置いてありますが、あの赤い自転車がほとんどありません。図書館にもほとんど無く、使ったまま、持って来ないのだと思います。それは、何故かと言うと、100円のデポジットだからです。100円だから、返却しなくてもいいかと置いて行ってしまいます。500円に上げれば良いと思います。
- 市コミュニティサイクル「しもんチャリ」について、新品の自転車を買って、設置したのだらうと思いますが、棄ててある自転車を市で集めてきたものがあると思うので、それを業者に出すのではなくて、リサイクル自転車として、使うことはできないでしょうか。いろいろな色の自転車が混ざるかもしれませんが、市のワッペンを付けて利用すれば、新しい自転車を購入せずに、古い自転車の再利用につながると思います。
- 鹿沼市では、自転車や大きな家具を直して、格安な値段で売る「鹿沼市リサイクルセンター エコハウス リックル」という施設があります。そういう取り組みが、下妻市でもできないでしょうか。その中には、衣料品やもらいもののお皿も売っていて、リサイクルショップと同じになっています。自分が値段を決めて、置いていく仕組みになっています。
- ごみ焼却施設は、市民の皆さんに見学してもらったほうが良いと思います。焼却施設でどんな臭いがしていて、どんな煙が出ているかということを説明して、その中で、皆さんが出すごみを苦勞して燃やしているということを見てもらえば、具体的な行動が出てくると思います。
- 生涯学習として、各公民館や市民センターの高齢者学級の事業の中に、ごみ焼却施設の見学があってもいいと思います。高齢者学級と言って、60歳以上の人達が入っている教室がありますが、その中で、ごみ処理の勉強会を行っても良いと思います。
- 高齢化が進んでいるので、ボランティアをもっと活用すべきだと思います。60歳以上でも動ける人はいるし、特殊な技術を持っている人もたくさんいます。例えば、自転車ならば、自転車の修理を専門にするボランティアを集めているから、お願いできますかとお知らせすれば、そういう人は、生きがいを持って集まってくると思います。

市民協働課 扱